

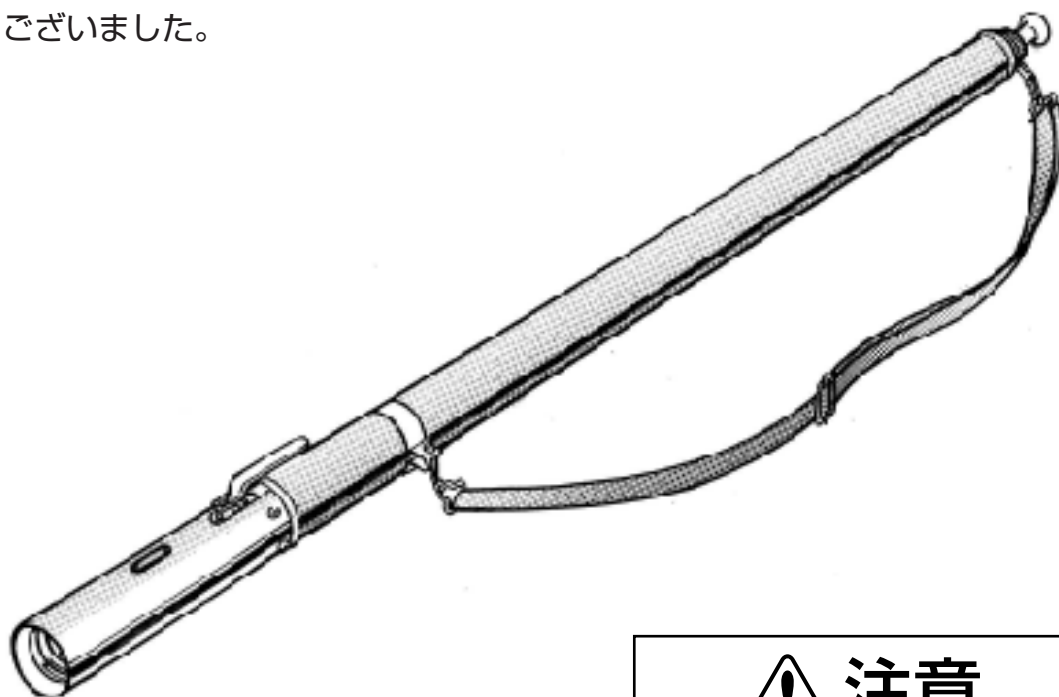
# TRUSCO

## 草焼バーナー TB-7000

### 取扱説明書

〈生産物賠償責任保険付・保証書付〉

このたびは屋外用携帯石油バーナー  
「草焼バーナー TB-7000」を  
お買い上げいただきまことにありが  
とうございました。



### ⚠ 注意

正しくご使用していただくため  
ご使用前に必ずこの取扱説明書  
をお読みください。またお読み  
いただいた後も大切に保管して  
ください。

#### 目次

特に注意していただきたいこと	1~2
使用する場所/部品交換のしかた	2
各部の名称/仕様	3
使用方法	4~5
日常の点検・手入・保管	6
故障・異常の見分け方と処置方法	6
アフターサービス	7

屋外専用

## ◆特に注意していただきたいこと

イラストの横にある⊘マークは「禁止」、Ⓛマークは「強制」、⚠マークは「注意」を表しています。

### ⚠ 危険 (取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定されることを表します。)

#### ■ガソリンの使用厳禁

燃料は必ず灯油を使用してください。ガソリンなど揮発性の高い油は絶対使用しないでください。火災の原因になります。



### ⚠ 警告 (取扱を誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されることを示します。)

#### ■可燃物の近くでの使用禁止

火気厳禁の場所、家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板などの燃えやすいもののそばでは火災の原因になりますので絶対に使用しないでください。



#### ■給油時は消火してから

給油は必ず消火してから行ってください。火をつけたまま給油すると火災の恐れがあります。



### ⚠ 注意 (取扱を誤った場合、使用者が傷害を負う危険、及び物的損害のみ)の発生が想定されることを示します。)

#### ■落下禁止

両手でしっかりと持って作業してください。予想しない事故が発生する恐れがあります。



#### ■上向け使用禁止

上に向けて使用しないでください。



#### ■異常時使用禁止

におい、すすの発生、炎の色など異常燃焼を起こしたときは使用しないでください。緊急の場合でもあわてずに消火してください。




#### ■火傷に注意

燃焼中や消火直後は高温部に手などふれないように注意してください。火傷の恐れがあります。



# ◆特に注意していただきたいこと




## 警告

## 火災に注意

### ■消火を確認

使用後は、必ず灯油バーナーや燃やしたものの消火を確認してください。必ず水をかけ火だねが残っていないことを確認してください。

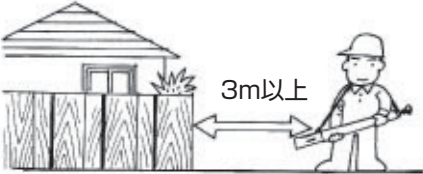


- 風が強いとき、火災の発生の恐れのある場合は使用しないでください。

- 使用の際は消火用の水、又は消火器等を準備してください。
- 消火後、時間を置いてから再度消火を確認してください。
- 燃やしてはならない物、場所にはあらかじめ水をかけておいてください。
- 植木など生木でも燃えることがありますので十分注意してください。
- 火災は思いもかけぬことから発生することがありますので十分注意してください。

# ◆使用する場所 ——— 安全に使用するために ———

- 可燃物(家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など)、火気厳禁の場所からは3m以上離れて使用してください。





- 家屋、板べい、かやぶき屋根、はめ板など燃えやすいものの近くでは使用しないでください。

- 可燃性ガスの発生しない場所またはたまらない場所で使用してください。また可燃性ガスが発生するものを使用しないでください。
- 必ず屋外で使用してください。
- 使用は、まわりに人や動物がいないことを確かめてください。
- お子様には絶対使わせないようにしてください。またお子様の手の届かない場所に保管してください。
- 使用の際は、作業しやすい靴と衣類を着用してください。

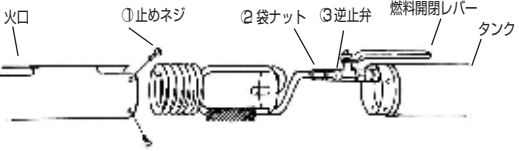
# ◆部品交換のしかた

気化器(予熱パイプ)、パッキンは消耗品です。破損した場合は別売の交換用部品(右図)と早めに交換してください。

・交換用気化器 KY-00
・交換用パッキン KY-10

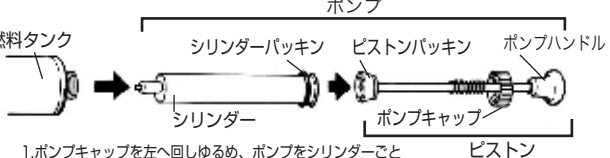
### ●気化器(予熱パイプ)の交換方法



※バーナー部が完全に冷めてから交換してください。

- 1.タンク内の圧力を抜いて、燃料開閉レバーが開まっていることを確認します。
- 2.①止めネジ4本をとり、火口を取り外します。
- 2.③逆止弁をスパナ、モンキー等で固定し、別のスパナ、モンキー等で②袋ナットを矢印方向に回してはずします。気化器(予熱パイプ)がはずれます。
- 4.新しい気化器(予熱パイプ)を逆の手順で図のような向きに組み付けます。

### ●パッキンの交換方法



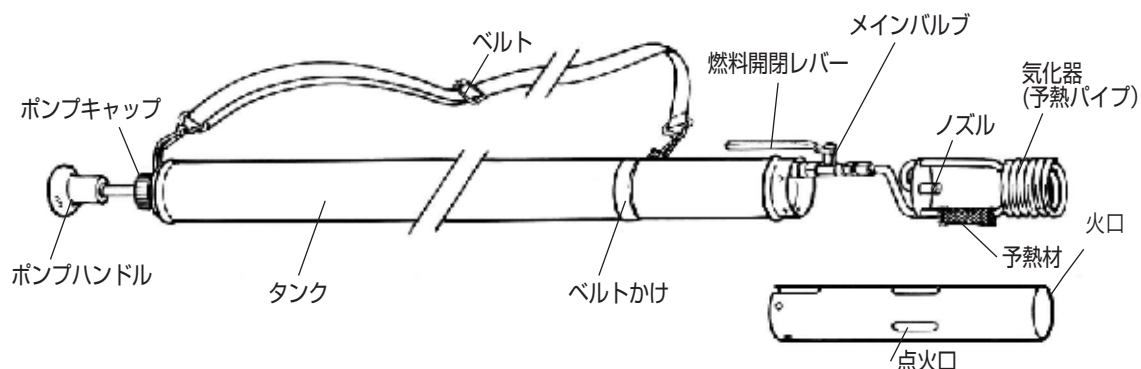
- 1.ポンプキャップを左へ回しゆるめ、ポンプをシリンダーごと燃料タンクから引き抜きます。
- 2.シリンダーからピストンを引き抜きます。
- 3.シリンダーパッキンを交換します。
- 4.ピストンの先端ナットをゆるめピストンパッキンを交換します。
- 5.ピストンパッキンが乾燥しているとピストンを押しても抵抗なく、加圧できないことがあります。この様な時は指でピストンパッキンを広げ、油(機械油等、てんぷら油でも可)を湿らします。
- 6.ピストンをシリンダーにいれます。  
★この時ピストンを回しながら入れるとピストンパッキンがしなわらず簡単に入ります。
- 7.ポンプを燃料タンクに入れポンプキャップを右に回し、きつく締めます。

#### 交換の際の注意

- 1.パッキンの交換は本体が完全に冷めてから行ってください。
- 2.パッキン交換後、灯油漏れ等がないことを確認してください。

## ◆ 各部の名称/仕様

### ■ 各部の名称 (分解図)



### ■ 仕様

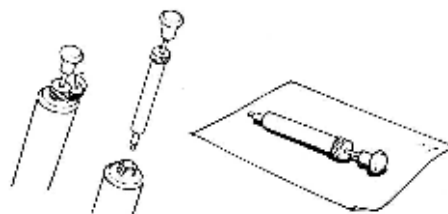
型番	TB-7000
使用燃料	灯油
タンク容量	1.5R
連続燃焼可能時間	約50分
全長	1285mm
重量	2.4kg
火炎直径	50mm
火炎長さ	300mm
予熱時間	約3分
発熱量	19.8kW(17,000kcal/h)
付属品	注油プレート(掃除針付) 予熱材(予備用)

### ■ 燃料

1. 燃料は必ず灯油(JIS1号灯油)を使用してください。
2. 変質灯油、汚れた灯油、水の混じっている灯油などは絶対使用しないでください。
3. 灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。

### ■ 給油

1. 燃料開閉レバーが閉まっていることを確認します。
2. ポンプキャップを左へ回し、ゆるめ、ポンプを抜き取ります。  
※この時抜き取ったポンプは、ゴミ等の付く場所に置かないでください。ゴミ等が燃料に入ると故障の原因になります。



3. タンクに灯油を約1.3L入れます。  
※タンク容量は1.5Lですが0.2Lは空気室として確保してください。

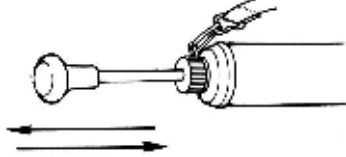


4. 給油後、ポンプを差し込んでポンプキャップを強く締めます。  
※灯油があふれた場合は布等でよく拭き取ってください。

# ◆ 使用方法

## ■ 点火前の準備

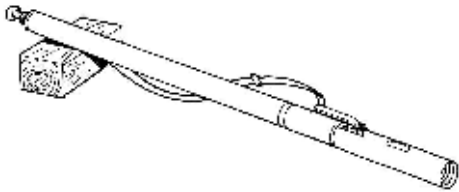
- 1.ポンプで圧力を5～6回加えます。



### ⚠ 危険

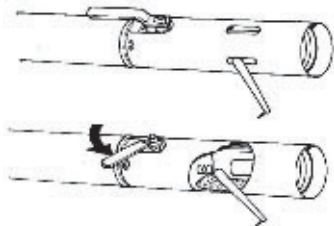
圧力を加えた後、タンクから灯油の漏れにじみがないことを必ず確認してください。灯油の漏れ、にじみがある場合は絶対に使用しないでください。使用中もときどき灯油の漏れがないことを確認してください。

- 2.図のように本体をポンプ側のタンクが高くなるように地面に置きます。



※ポンプ側を高くすることによりタンク内のエアがノズルから出るのを防ぎます。

- 3.気化器に灯油をため予熱材に灯油を湿らすため、火口横穴より付属の注油プレートをノズル前方に差し込み燃料開閉レバーを開きます。

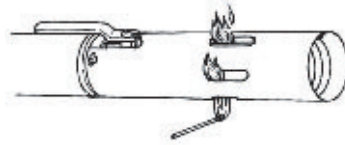


- 4.灯油が注油プレートにあたり、予熱材に十分しみたら燃料開閉レバーを閉じます。

※付属の注油プレートを紛失した場合は、金属へらなどを代わりに使用してください。

## ■ 予熱

- 1.燃料開閉レバーを閉じた状態で、点火口より予熱材にマッチ等で点火します。



※風のある時は、火口先端に風が流れる様に追い風で予熱を行ってください。

- 2.火炎が噴射して炎が大きくなるまで(約3分間)十分に予熱します。

### ⚠ 注意

予熱中、火口から火のついた灯油が噴出することがあるので火口前方に可燃物がないこと、人がいないことを確認してください。



徐々に火炎が噴射します。

※予熱時に燃料開閉レバーのところから白煙の出ることがありますが、異常ではありません。

火炎が噴射して炎が大きくなるのは、気化器(予熱パイプ)の中の灯油が気化され膨張し、ノズルから噴射するためです。

## ■ 予熱の完了・火力調整

- 1.火炎噴射後、炎が小さくなったら燃料開閉レバーをゆっくり開きます。



